

五泉市 議会だより



第2号
平成20年
7月25日

■発行／五泉市議会 ■編集／広報特別委員会 ■議会事務局／新潟県五泉市太田1094番地1
TEL.0250-43-3911（内線370） FAX.0250-43-2716



「ごせん再発見」写真コンテスト入賞作品『少年時代』

◆目次

ページ

第3回臨時会

2

第4回6月定例会

2

第5回臨時会

2

議長室から

3

議会は苦渋の選択！

議決結果など

4

委員会審査報告

5
6

総務文教常任委員会

厚生経済常任委員会

建設企業常任委員会

附属機関等調査特別委員会

一般質問

7
14

意見書の提出など

15

林議長「全国市議会議長会表彰」

16

市議会の仕組み

16

編集後記

16

平成20年 第3回臨時会 (5月19日)

第3回五泉市議会臨時会は、5月19日に開催され、当局報告の後、条例改正の専決処分3件、条例改正について1件、土地の取得について1件が審議されました。

《当局報告》

- ◆水道工事の契約解除
- ◆固定資産税などの課税誤り
- ◆軽自動車税の課税誤り

事務処理の誤りが連続して発生したことにより、今後、チェック体制の強化に取り組むこととした。

5月臨時会で審査された案件		議決 結果
市長提出議案	○専決処分の報告承認について（五泉市税条例の一部を改正する条例）	承認
	○専決処分の報告承認について（五泉市都市計画税条例の一部を改正する条例）	承認
	○専決処分の報告承認について（五泉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	※不承認
	○条例の一部改正（五泉市国民健康保険税条例）	原案可決
	○土地の取得について	原案可決

メモ

《専決処分とは》

議会が議決をしなければならない条例・予算などについて、市長が議会に代わって決断・決定することを専決処分といいます。

時間的に議会の開催（招集）を待てない緊急の場合や議会が成立しないときなど法律の規定による場合と、軽易な事項等を議会が市長に専決処分事項として委任した場合とがあり、前者の場合は、市長は次の議会に報告し、議会の承認を求めなければならないとされています。

《専決処分の報告承認の主な内容》

- ・ふるさと納税の規定
- ・課税賦課限度額の変更
- ・低所得者世帯に対する減額措置

※条例改正文中の減額措置において減額すべき金額に誤りがあったため、不承認とした。

《条例の一部改正の主な内容》

- ・今回の専決処分の中にあつた減額すべき金額の誤り部分を訂正するもの

《土地の取得》

（仮称）村松体育館などの建設予定地である石曽根地内の国有地18,376㎡についての取得 <金額：1億500万円>



（仮称）村松体育館建設予定地：石曽根地内

平成20年 第4回 6月定例会

第4回6月定例会は、6月6日から6月25日までを会期とし、補正予算や条例の改正などの議案が提案され、各常任委員会で審査された後、本会議で可決されました。（内容は4ページに掲載）

平成20年 第5回臨時会 (7月14日)

速報！

第5回五泉市議会臨時会は、7月14日に開催され、（仮称）村松体育館の工事請負契約について2件のほか一般会計補正予算1件が審議されました。

《議決結果：工事請負契約2件＝否決、一般会計補正予算（第4号）＝原案可決》

不適切な入札に議会は苦渋の選択!

議長室から

「(仮称)村松体育館建設工事」

請負契約案に議会は反対、否決!

7月14日、臨時議会に提案された村松体育館建設に係る建設業者や電気工事業者との請負契約案を、議会は反対多数で否決しました。反対理由は、①市が最初からいくつかの業者を選んで指名し競争させる入札方法を取った事、②業者指名の選定基準が不明瞭である事、③市がJ・V(いくつかの業者が一緒になった企業体)を作ることについて、特定の業者に対してあつてはならない要求、幹旋をした疑いが濃厚なことです。厳しい質問が相次ぎ、討論の結果否決となったものです。

①については談合が常態化すると競争入札のメリットが全く生かされないため、談合防止策が極めて重要で、近年、国や地方公共団体の会計制度の透明性を確保する目的で会計法および地方自治法が改正され、入札方法を指名競争入札から一般競争入札に移行する動きが加速しており、市が不利益をこうむるなどの理由がな

い限り一般競争入札とする事が規則です。②については耐震性など「安心・安全」という観点から、指名業者の規模や技術力の基準が議会や設計者の求める水準と格段の差があった。③は市がJ・Vの組み合わせに不当介入、違法の疑い、あるいは不適切なことを考えられる行為があつた。

当局にとっては契約金額も大きくまた注目も集めていた工事であり、より透明で公平公正な入札方法がふさわしかったとの判断から否決に至ったのです。

市当局からは地元業者に参加の機会をとの答弁が相次ぎましたが、当局の行った入札方法は工事規模や時代の変化に逆行するものであり、無理な入札の結果としてどの地元業者も建築工事の請負者になれなかったのです。

工事に見合う企業規模、技術力を共に兼ね備えた企業に「地元企業との企業体を組むこと」を条件に広く公募す

べきだったのです。これを「条件付一般競争入札」といいます。地元という美名の下、ある特定の業者を指名参加させようとした疑惑がもたれ、さらに安全性の面からも不安をぬぐえない指名だったという指摘がなされました。

この施設は、スポーツ施設としてのみならず地域で最も広く最も耐震性をもつ、防災施設、避難施設としての機能が求められていました。安心安全で強固な施設を、公明・公正・公平に建設することを議会は求めたのです。

あつてはならないことだが、市当局が面子にこだわったり、行政や役人特有の自らの間違いを認めたがらないことなどから、議会の多数から指摘された不当性を無視し、市民待望の新体育館の着工が遅れることがないことを願っています。

一日も早く、議会が全会一致で賛成できる出直し案を、当局より提案されることを望みます。

6月定例会議決結果など

6月定例会では、20年度補正予算議案等の市長提出議案17件、議会提出議案3件、請願4件、陳情2件は、各常任委員会で専門的に審査した後（常任委員会審査状況：5㉮～6㉮掲載）、本会議で下記のとおり議決しました。

6月定例会で審査された案件		常任委員会	議決結果
市長提出議案	人事案件		
	五泉市川東財産区管理会委員の選任		同意
	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること		異議なし
	条例の一部改正		
	五泉市監査委員条例の一部を改正する条例	総務文教	原案可決
	五泉市手数料条例の一部を改正する条例	厚生経済	原案可決
	五泉市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例		原案可決
	20年度補正予算		
	専決処分の報告承認（一般会計補正予算（第1号））		承認
	一般会計補正予算（第2号）	分割付託	原案可決
	国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	厚生経済	原案可決
	老人保健特別会計補正予算（第1号）	厚生経済	原案可決
	介護保険特別会計補正予算（第1号）	厚生経済	原案可決
	下水道事業特別会計補正予算（第1号）	建設企業	原案可決
	簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	建設企業	原案可決
	後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	厚生経済	原案可決
	水道事業会計補正予算（第1号）	建設企業	原案可決
	一般会計補正予算（第3号）		原案可決
	その他		
議会提出議案	市街地の区域及び住居表示の方法について	厚生経済	原案可決
	動産の取得について		原案可決
	30人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度の国負担率2分の1復元をはじめとする教育予算の充実を求める意見書の提出について		原案可決
請願・陳情	国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める意見書の提出について		原案可決
	障害者自立支援法の抜本的な改正を求める意見書の提出について		原案可決
	30人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度の堅持をはじめとする教育予算の充実を求める請願	総務文教	採択
	へき地級地見直しに関する請願	総務文教	継続審査
	後期高齢者医療制度の中止・撤回の意見書を国に提出することを求める請願	厚生経済	不採択
	ミニマムアクセス米の輸入停止を求める請願	厚生経済	不採択
	国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める陳情	厚生経済	採択
請願・陳情	過剰な農業取締法により、植物からなる、農業用有機資材を締め出す不法な行政指導の改善を求める意見書提出に関する陳情	厚生経済	継続審査

人事案件 一次の方々に決定しましたー

□川東財産区管理会委員□

目黒 一也さん（大蔵271番地）

□人権擁護委員の推薦□

丸山 静子さん（橋田甲666番地）

<当局報告>

- ・事務の適正執行について
- ・川東小学校校舎改築工事の進捗状況について

<専決処分の報告承認>

- ・五泉市一般会計補正予算（第1号）

主な条例一部改正

○監査委員条例の一部を改正する条例

- ・地方公共団体の財政の健全化に関する法律の施行に伴う改正

○手数料条例の一部を改正する条例

- ・戸籍事務を電子情報処理組織によって取り扱うことに伴う文言整理

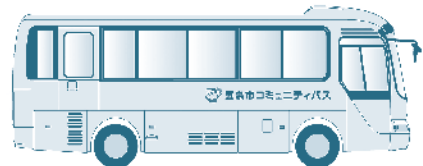
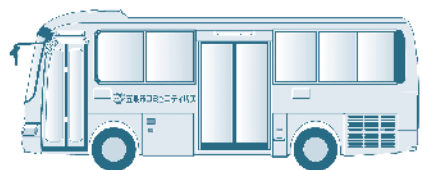
○五泉市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

- ・市長と副市長の7月分給与を10%減額するもの

動産の取得について

一般乗合旅客自動車運送事業者へ車両を貸与し運行委託するため、営業ナンバー登録が可能な小型バスの購入。

○コミュニティバス2台 【購入金額：26,270,083円】



市街地の区域及び住居表示の方法について

三本木の一部及び船越の一部を市街地の区域と定め、住居表示の方法は、街区方式によるものとする。

総務文教常任委員会審査報告

委員長 石 黒 俊 雄

(主な質疑)

市民バス運行について

蒲原鉄道で運営している路線バスのうち、刈羽線・木越線・戸倉線の三路線が九月末日をもって廃止され、替って市営のバスを走らせる事についての質疑がなされた。その運営に当たっては、市民の公平性・行政サービスの恩恵を考えると、既存の公共交通と一人当りの負担の差が大きすぎる。公平性を確保してもらいたい。今後もっと議論して需要度の大きさ等地域の実情に合わせ、例えば乗合いタクシーがいいのか、十人乗りのバスがいいのか等総合的な交通体系を考えたいという議論が行なわれた。



チャレンジランド杉川について

この施設は厳しい財政運営が続いている。しかしながらこの施設は市内の外の施設と違い全く特異である。少子化という中で集団生活などを体験する場でもあり、自然に触れることの出来る施設であります。しかし現実には経費がかさみ経費に対する収入のバランスが良くない。十九年度は4千700名程の利用者があったが、団体客の利用は少なく、フリーの個人客の利用が多い。そういう客に利用の場を与え過ぎてはいないか。又、管理人の運用の有り方についても質疑がなされた。

今後財政的な面と併せて設置の趣旨が生かされるような方向で検討してゆく事となりました。その他税の徴収ミスの問題や小学校の除草剤使用の問題等多くの質疑がなされたことを報告します。

厚生経済常任委員会審査報告

委員長 鈴 木 良 民

(主な質疑)

住居表示について

問 三本木区域における住居表示の方法に関し、船越の一部も含めた区域全体が三本木3丁目という住居表示になるのか。また、実施時期はいつ頃か。

答 今回の対象区域については三本木3丁目に隣接していることから、この地域も三本木3丁目何の何というようになる予定です。今後、審議会による審議を経て来年3月に実施する予定です。

アスベスト除去工事について

問 五泉市横町の老人福祉センター翠泉園のアスベスト除去工事に關して、施設内の現状と工事期間中における利用者のバス送迎の対応はどうするか。

答 従来、石綿が1%以上含まれるものが除去対象となっていたが、法改正により0.1%以上含まれるものも対象となったために工事を実施する。なお、施設内にあるアスベストの状況は1階と2階の天井に約186㎡使用されているが、目視点検では剥がれ等は見受けられない状況です。8月半ば過ぎからの工事期間中については利用者のバス送迎を週2回程度行いたいと考えている。

要望 当委員会が所管する各課において、最近、条例の一部改正の誤りや損害賠償事故などが発生しており、今後とも、法令遵守や管理監督に努め、更なる事務の適正執行が図られるように強い要望があった。

建設企業常任委員会審査報告

委員長 山 田 博

(主な質疑)

中央連絡橋について

問 歳入に五泉駅の中央連絡橋のいたずら書きによる損害額の弁償が計上されているが、連絡橋が出来た当時、民間企業などの広告を募集して展示する考えがあったようだが、広告の利用状況はどうなっているか。

答 現在、民間の利用はありません。

要望 広告の利用が無いのであれば、小学生の絵などを展示することにより、いたずら書きをしたという気持ちがおきない様なスペース活用をしてほしい。

早出川の木造デッキについて

問 早出川の太川橋東側にある県管理の板張りデッキの板が老朽化しており危険な状態である。

以前から修理の要望をしているが、見通しはどうか。

答 県にはすでに修理の依頼をしているが、再度お願いしたい。

要望 これから夏場を迎え利用者が多くなる場所でもあり、早急に修理を願いたい。

防火水槽工事について

問 耐震性防火水槽整備工事の補正増はなぜか。

答 今年度は大蔵、一本杉、熊沢、矢津地内の4ヶ所に設置を予定していたが、原油の高騰があり、鋼材も値上がりしたため、工事費の総額に不足を生じたものの。

附属機関等調査特別委員会報告

委員長 羽 下 貢

各課に多く設置されている附属機関が適切なものであるかをこの度、学校教育課・生涯学習課・市民課・環境保全課・商工観光課の所管する委員会等の設置目的、委員の選任方法、審議内容などに対して調査を実施した。

(主な質疑)

学校教育課

問 附属機関の設置に際し、条例に基づく設置と任意による設置の考え方について。

答 シャッター事故検討委員会、専門的立場の意見を聞き今後の再発防止をする目的から、条例による設置とした。食育推進委員会については幅広い層から意見を聞く目的から任意による設置とした。

要望 学識経験者やPTA関係者など、外部の方を委員とする場合は、条例による設置を行うように認識をしてもらいたい。

生涯学習課

問 附属機関が多数設置されているが、委員として同じ方が複数の委員会の委員になっている状況がみられる。委員の人選はどのようにされているか。

答 委員の委嘱については、公募の方を除いて各組織から代表者の推薦をもらいお願いしている。

要望 附属機関の委員委嘱については幅広い層から人選を行い、その意見を反映させてもらいたい。

一般質問(通告順)

山田 博

保健師の増員を！

問 行財政改革のあおりで人員削減が叫ばれているが、いままでの病氣予防や健康づくりに加え、国民健康保険の特定保健指導が始まる。

特定保健実施率・保健指導の実施率・メタボ該当者及び予備軍の減少率が計画どおりいかないと後期高齢者医療制度の保険料にはね返ってくる。国保係にも保健師を配置して意識を持って働いてもらえば、国保料の引上げを抑制する可能性がある。

答 大きな市では、国保係で保健指導を行っているところもあるが、五泉市の職員は限られた人員の中で、市民の健康を守るため努力している。所属によって垣根をつくることなく、今までどおり健康福祉課、地域福祉課の保健師や管理栄養士が生活習慣の改善のためやって行きたい。

メタボとは、内臓脂肪型肥満に加え、「高血圧」「高血糖」「脂質異常」などの生活習慣病を2つ以上併せ持った状態のことです。

メタボリックシンドロームを放置しておくとう動脈硬化が急速に進む恐れがあります。



広報用のファイルを

問 広報は1回見たら用の済む記事もあるが、後々見なければならない記事もある。よって広報をとじておくファイルを作成する考えは。

答 各家庭で広報をつづり、一定期間保管していただき、市の情報を的確に把握していただくことは重要です。

経費の面もあるので、広告の入ったものにするなど、さまざまな面から検討します。

いのくま 豊

銭湯をなくさないで！

問 五泉の銭湯は「常磐湯」一軒だけです。長年、住民の健康、福祉、交流の場として親しまれてきました。しかし、利用客の減少や燃料高騰などで今年9月末で廃業との声が聞こえます。銭湯を守るため国や市の責任を明記した特別措置法の立場で加茂市では、銭湯に集会場とスーパーを併設して銭湯を守っています。五泉市でも活用策、支援策をしっかりと行っていくべきです。



答 銭湯は、住民の公衆衛生向上の役割を果たしてきた。日中、地域の高齢者が活用するにはスペース的に難しい。廃止後は横町の老人福祉センター入浴施設を利用できるようにしたい。

学校耐震化の促進を！

問 学校は子どもたちが一日の大半を過ごし、震災発生時は地域住民の避難場所にもなります。四川大地震で改めて学校の耐震化の重要性が指摘されています。耐震補強工事は、学校の統廃合と絡めずに、子供たちの安全を最優先し計画を前倒しして行なうべきです。①五泉市の小中学校、保育園の耐震化率は ②耐震診断結果の公表と耐震化の促進を ③教室の窓ガラス飛散防止、照明器具や天井の落下防止対策を

答 ①小中学校の耐震化は70棟中54棟、耐震化率は77%である。古い耐震基準の保育園が5園あり、状況を見ながら耐震化を検討したい ②耐震化推進計画を作り公表していきたい。今後も強度が低い建物から補強工事を進めていく ③今後の検討課題としたい。

一般質問(通告順)

佐藤 渉

中学生の登下校時の安全対策について

問 中学校統合により、遠距離通学での安全確保。最近ふえている中学生の不測の事故や、卑劣な犯罪などの予防。そのために市はバスの使用の件もふまえて、どのような対応策を考えているか？

答 県からスクールガードリーダーという警察の専門家の方を中心にしながら、不測の事故や不審者の対策をどうすべきかということで、学校や通学路を巡回してもらい、具体的な指導をいただいています。バスの使用の件については、広い通学路であることから、今後どういうふうにバスを活用していくかを、公共交通活性化プログラムというような場で検討する。

高齢者の孤独死防止

問 高齢化が進む中、一人暮らしの高齢者や老夫婦世帯の方が安心、安全に生活できるため、訪問サービスの見守り事業の早期取り組みを！

答 地域においては、常に高齢者が安全、安心して生活できるよう自主防災による要援護高齢者の見守りや、民生委員の皆さんによるひとり暮らしの高齢者への訪問などを行っています。また市内の約170人の方々に農協あるいは料理業者によるところのひとり暮らし老人の週1回の弁当配達による励ましと安否確認を行っています。平成20年度から新聞店や郵便局と提携し、孤独死が疑われるような事案があれば高齢福祉課に連絡してもらうネットワーク体制を築き上げたところです。

鈴木 光規

ゴミの有料化について

問 新潟市の有料指定袋導入により、県内は22市町村でゴミの有料化がされた。自治体の大義名分は、環境負荷を低減、循環型社会の実現が目的である。当市ではゴミの有料化をどう考えているのか、審議会の報告を願いたい。

答 当市は、ゴミの減量化や再資源化の促進という視点から、有料化について検討している。五泉市廃棄物減量等推進審議会を昨年より4回開催している。今後、他市町村の状況を参考にして検討して行く。



ゴミステーションの状況

陳情・苦情等の実績と処理について

問 昨年の陳情件数及び所管別の状況、その対応は？ 苦情等は、投書、電話、メール、口頭等、伸冤的しんえんなものは別として、市民から市政・行政への提言がどう寄せられているか。

答 陳情の実績は、提出団体数は75団体、件数は161件、所管別では、都市整備課165件、農林課14件、環境保全課12件について検討を行い対応している。苦情については、匿名で寄せられるものがある。提言を受け、広報等を通じて市民から意見を聞く方法を考えて行く。

一般質問(通告順)

芳賀 和久

これからの高齢福祉

問 今の日本の高齢福祉の現状は、歩行が困難になった人には、杖や車椅子、介護用ベットを提供し、家族や介護職員が全面的にお世話をするケースが大半です。

結果として、歩かないから歩けなくなり立たないから寝たきりになる。悪循環の繰り返しです。そこで、出来るだけ介護を必要としない元気な高齢者を増やす事を目的に、高齢者向け健康増進プログラムや自立支援と在宅ケアの推進など、行政の取り組みが必要とされているが、介護予防や自立支援など、今後の当局の取組みは？

答 高齢者になっても、人の世話にならず元気な老後を過ごせる事は、誰しものが願うところであり、市としても高齢者が要介護・要支援に陥らないように、介護予防事業に積極的に取り組んできた。

今年度は、町内会や集落単位での介護予防教室を年15回、高齢者の体力づくり教室を年105回、開催を予定している。

今後、より良い介護予防事業を推進して行くためにも、優れた事例を調査研究し、高齢者福祉向上に努めてまいりたい。

女性消防士早期採用を

問 患者あるいは、事故当事者が女性の場合、搬送先を決定する為にするデリケートな質問や、触診する行為の時、女性職員が救急車に同乗していれば、女性の気持ちを十分に理解し、スムーズに作業も進むと思うが、女性消防士の採用の予定は？

答 県内において26人の女性消防士が採用されているが、当市にはまだ居ない。今後、多くの女性から応募して頂けるよう市の広報、消防士を目指す専門学校や救急救命講習会場などでもPRをしていきたい。

石黒 俊雄

職員の時間外勤務について

問 時間外手当の決算額

	18年度	19年度
経常的な時間外手当	73,304,610円	60,762,616円
臨時的な時間外手当	2,841,119円	47,925,661円
経常的時間外	職員一人当手当	121,365円
	時間外平均単価	2,350円
	一人当時間数	52時間
		43時間

臨時的な時間外業務は正に時間外にふさわしいが、経常的な時間外業務はなくすべきである。

答 H18年度は合併により又、職員の削減等による事務費の増大に対して限られた職員で対応したことによる。今後は事務の見直しや事業の廃止で適正な人員配置に努め、時間外の縮減を図りたい。

問 退職者の増大により残業が多くなる。又、一過性のものは臨時職員を多く採用して対応する。しかし行政改革はどうなる。

答 現実的には時間外で対応しなければ業務が回らない。悩ましい問題であります。

問 次のことを提案しますので考慮いただきたい。

課及び係のうち $\frac{1}{2}$ とか $\frac{1}{3}$ の職員に勤務時間の差1～2時間を設けたらどうか。これは一時論議されたフレックスタイム制の導入です。

答 5時15分で業務の終了を、市民サービス向上のために7時までやる場合、フレックスタイムというのは可能かと思えます。検討課題とさせていただきます。

一般質問(通告順)

牛腸 利栄

水田経営所得安定対策について

問 担い手の助成金が予想された額より少ないが、算出方法が地域の現実とかけ離れている。地域の実情に見合ったエリア設定の見直しが必要である。

答 助成金は農業生産地域の単収が基準となっている。五泉市の現状とかけ離れたもので、不合理なものである。北陸農政局新潟農政事務所長に対して、地域の見直しと、下越南地域の細分化を強く要望していきたい。

五泉停車場石曾根線の道路改良整備について

問 多くの公共施設がある村松東地区と五泉市の中心部を結ぶ幹線道路の改良整備を急ぐ必要がある。

答 両地域を東側で結ぶ路線として、県合併支援本部に現道の拡幅改良と荒屋から国道290号、熊野堂の新設改良を合併支援事業に登載している。しかし拡幅改良には地権者の同意が必要であり、難しい状況であるが、引き続き県に要望していきたい。



五泉停車場石曾根線の道路

平井 敏弘

転作状況について

問 当市は重点地域にもなり、職員が未達成者宅へ戸別訪問を実施するなどの努力が見られるが、生産者は農政不信、一時支援の不信、拡大する限界感など大変厳しいものと思う。5月末日までの転作状況並びに未達成者の地域別戸数は？

答 5月末現在、約91%で昨年度実績よりも約5ポイント下回っており、地域別の未達成者の戸数は、五泉地区109戸、橋田地区95戸、川東地区103戸、巢本地区39戸、五泉菅名地区72戸、村松地区24戸、十全地区42戸、大蒲原地区51戸、村松菅名地区57戸、川内地区147戸未達成の状況となっており、今後も生産調整の達成に向け、関係機関とともに推進してまいりたい。

水災害に対する補助制度の創設を

問 市単独で住宅等において流失か床上・床下浸水の被害を受けた方に対する復旧費用補助事業制度の創設をすべきだと考える。

答 市の災害見舞金支給要綱に基づいて、住宅に床上浸水以上の被害を受けた方に見舞金を支給をしており、床上浸水には1万円ということになっている。ご指摘の趣旨については理解できますが、どこまで助成をしていくかについては、論議のあるところですが、もう少し勉強する時間をいただきたいと思います。

一般質問(通告順)

あべ かねお

学校・公園等のスポーツ施設の充実を！

問 青少年健全育成のスポーツ活動支援、競技及び健康づくりのためのスポーツ等施設の新設、改修が急務である。

栗島公園グラウンドには少年サッカー用ゴールの設置が熱望されている。また、中学校のスポーツ施設では学校間格差がある。五泉中学校の施設充実と市内各学校の運動施設面の格差解消を！

答 小学生のスポーツチームは、日ごろ小中学校の施設や栗島公園の多目的広場等既存の施設を使用している。少年サッカー用のゴール配備については設置の方向で検討したい。また、中学校スポーツ施設の学校間格差については、敷地の広さなど学校ごとに違う状態であります。五泉中学校の屋外施設の整備については国、県と協議し効率的な活用を検討したい。

東南環状線の早期着工を！

問 東南環状線予定線の南本町から赤海間の計画路線を変更して早期着工に取りかかるべきである。特に赤海・寺沢間の早期開通が望まれるが、難所である墓地を迂回するように一部計画路線を変更の上、市内外とのアクセス道路として早期着工、早期完成を！

答 県道新津村松線の南本町地内から県道猿和田五泉線の赤海地内の計画法線の変更と早期着工の質問について、ご指摘の区間も含め、都市計画マスタープランでまちづくり方針を策定している。次の段階で都市計画道路の見直しを検討したい。整備の進め方は、県道のバイパスという形で県にお願いしており早期事業着工を目指したい。

けんもち 雄吾

在宅療養支援診療所の整備を！

問 高齢者の自宅などに24時間体制で往診や訪問看護を行う「在宅療養支援診療所」の開設が県内で見受けられる。

当市の整備状況はどうか。

答 県内において96診療所があるが、医師、看護師不足等からスタッフの確保が難しく、大半が都市部にある。実施にあたっては体制を確保する必要があり五泉地域の医療を検討する場面等で、医師会、病院、訪問看護ステーション等の関係機関とで話し合ってみたい。

学校給食費の現行水準維持を！

問 ①急激な諸物価の高騰、特に食材のバター、小麦粉等々値上がりしている。即給食費に反映されたら保護者の皆様は大変な局面を迎えられる。子育て支援の観点からも給食費については、創意工夫され現行水準維持の努力を！

②食の安全について、食料自給率の観点からも安全な地元産農産物を学校給食により多く取り入れたらどうか！

答 ①本年度の給食費は昨年度と同額で、自校方式の小学校、月額4,550円、中学校5,150円で、給食センターについては、小学校4,300円、中学校5,000円です。食材の高騰により、ご指摘のとおり給食費が逼迫している。創意工夫しながら給食費を現状維持するように努める。

②平成18年度に食育推進計画を作成し、その柱に地産地消の推進を大きく掲げ、さらに地場農産物の消費拡大を目指している。安全安心な食材をより多く給食に使用し、地産地消を推進していきたい。

一般質問(通告順)

古田 弘平

高齢者の生活支援について

問 一人暮らしの高齢者の安否確認について赤外線利用の体温感知センサーを利用して、動きがない場合に作動し、センサーのモニターに表示される。一人暮らしの安否確認を完全に行えるよう設置すべきだ。

70歳以上の一人暮らしで持ち家の高齢者を対象に、住宅用の火災警報器の無料支給設置を実施すべきだ。

答 通信システムは著しい進歩を遂げておりますので、ご指摘の赤外線センサーシステムも含めまして、情報収集に努めてまいりたい。

火災報知器の無料設置については今後の課題とさせていただきます。



軽度発達障害児への対応について

問 軽度発達障害児の特徴と市内の発生状況はどうか。学校現場における取り組みと問題点はどんなところか。今後の対応策はどうなっているか？

答 発達障害の特徴は、高機能自閉症、注意欠陥多動性障害、学習障害の3つが代表的だ。現状は、特別支援学級に在籍している児童は弱視を含めて39名、中学校では19人だ。通常学級にも発達障害と思われる児童生徒はいるが、正確な人数は確認し得ないものだ。問題点は、パニックを起こしたときの対応や怪我の心配があるし、ほかの子供たちの学習等への影響も懸念される。学校現場の取り組みは、各校の特別支援教育コーディネーターを中心として校内委員会では対応している。

今後も各校の状況に応じて適切に対応してまいりたい。

町田 俊夫

「減反の廃止」は、農業者の悲願だ！

問 町村官房長官の減反見直し発言は、マグニチュードが大である。原油高騰、バイオ燃料ブーム、新興国の経済成長等の要因による世界的穀物高騰は、減反を見直す農政改革の好機と考えるが市長の見解は？

答 生産調整により価格維持を図る減反政策は完全に誤りであると言わざるを得ない。減反を緩めて全部米をつくれれば1俵が9,500円ぐらいに下落すると思うが、2,000億円の減反に要する費用を充てれば1万4,000円の価格は保障されと考える。食料自給率39%は約60%を輸入に頼ることであり、外国の農産物を輸入することによって、同時に大変な外国の水も輸入していることにもなる。バーチャルウォーターも深刻な問題だ。

理不尽なメタボ健診

問 メタボリックシンドロームの患者を減らすことで医療費削減を目指す新制度のメタボ健診の①受診率65%未達成で後期高齢者医療制度への拠出金10%増額のペナルティの発生②腹囲、BMIが基準値未満者が血糖、血圧異常の場合、健康指導の対象外扱い③腹囲の数値(男性85cm、女性90cm)の妥当性の理不尽を問う。

答 ①大幅な受診者の増加を期待するが、現実には悲願に近く、即財政支援のカットは大変難しい条件だ。国に一考を願う。②の対象者外でも健康指導をしたいと考える。③腹囲が85cmの男性は平均的で最も多く、健康な人まで異常と判断されるとの声があり、市長会等で対応したい。

一般質問(通告順)

長谷川 秀行

レジ袋^{ゼロ}運動について

問 環境問題を考えることが重要な今、ごみの減量化、石油資源の節約、地球温暖化の防止といった目的を達成するために、市が先頭になってマイレジ袋を持ち歩くよう、積極的にレジ袋ゼロ運動を行なってみてはどうか。

答 レジ袋は生産、流通、廃棄の各段階において温暖化の原因となるCO₂を排出するわけであり、これを減らしていくという取り組みは、今後積極的に展開を図る必要があると思っている。

広報などによる啓発や、消費者団体、販売店への働きかけを進めてまいりたい。

米の消費拡大について

問 米粉製品としては米粉ぱん、ライスヌードル、うどん風、ラーメン風、パスタ風などの米粉めん、クッキーやだんごなどの米粉菓子、ギョーザやシュウマイの皮などにも使えると思います。学校給食などに使用してみてはどうか。

答 学校給食における米の使用状況は、週5回のうち米飯回数が3.5回、米粉使用が0.25回、小麦粉使用が1.25回となっている。食材の高騰により給食費が逼迫している現状であり、完全に米粉に移行することは難しいが、米の消費拡大という観点から、今後とも検討を続けてまいりたい。



米粉を使ったうどん作り

広野 甲

レア金属の回収とリサイクルについて

問 国内で流通、廃棄された家電製品に含まれる、レア金属の量は世界有数の資源国の埋蔵量に匹敵すると言われている。そこで市の広報や、ホームページ等による呼びかけ、啓蒙活動を推進するべきである。

答 資源活用、リサイクルの推進という面から広報等による啓発活動を検討したい。また、今年3月から市役所と支所に設置した「入れ歯リサイクルボックス」の利用促進についても市民への周知を図っていく。



市役所に設置されている回収ボックス

アレルギー疾患に対する学校の取組は

問 児童生徒にアレルギー疾患について正しく理解してもらい、みんなで支える体制づくりと、学校教育の現場で健康教育を推進する必要がある。

答 環境衛生の向上、児童生徒に応じた対応、病状により適切な対応に努めている。人権に配慮し、偏見をなくすなどの指導に加え、喫煙の禁止や薬物依存の予防、食育教育の指導を行い、健康教育の推進に努めていく。

一般質問(通告順)

熊倉 政一

環境行政について！

問 公園、河川敷、道路等の草刈り作業後に出た草等の処理状況は？ 草は積んでおけば肥やしになり、畜産においては飼料にもなり有効な資源である。ゴミとして焼却すれば環境の悪化を助長するがそれ以外の有効な活用方法はあるか。

答 一部の公園等においては、集積して堆肥化したり、樹木の周りにマルチとして利用している。また、道路わきののりや河川敷等においては、面積が広大なこともあり、現地に刈り置いている現状である。集積方法や活用方法について今後関係機関などとも協議して検討したい。

農業行政について！

問 原油価格の変動は肥料、農薬、農業用プラスチック等資材費や燃油の価格に大きな影響を及ぼしている。エネルギー事情を考えると、今後も生産資材を取り巻く情勢は厳しいことが予想されるが、飼料、化学肥料、農業用機械など農業資材の高騰による影響と対応策は？ またバイオエタノール米など市独自の補助が望まれるがその対応は？

答 農業資材の価格上昇については、関係団体と連携して農業資材の軽減の要請をしていく。農業機械の購入、施設整備については国の補助事業として認定農業者を対象とした地域担い手経営基盤強化総合対策実験事業が実施されている。

バイオエタノール用米の助成は、新潟市が1万円の上積み助成をしており、市単独補助については同じ農協の組合員で行政の対応がちがうということは今後の取り組みへの意欲の点から好ましくないと思っている。何らかの対策を考えたい。

池田 邦一

本町1丁目地内の老朽化した歩道橋撤去を！

問 県道猿和田五泉線の本町地内にある歩道橋は、約40年前に設置された県内でも数少ない歩道橋の一つであり、通勤や通学に活用されていたが、その後信号機や横断歩道が幾つも設置され歩道橋を渡る通行人が減少している。地震や災害が起きない内に県と協議の上撤去を望む。

答 この歩道橋は昭和43年3月に設置されたものであり、設置後40年が経過した。近年老朽化によるさびや腐食が発生している状況であり、地元の方々からも撤去の要望があるため、県に要請をしている。



老朽化した歩道橋

選挙投票所の創設を！

問 近年北五泉駅周辺は世帯数、人口数も増加して大変伸びて来ている。地域住民の要望もあるので北五泉白山地内、市立さくら保育園に投票所の設置を願いたい。

答 北五泉駅周辺地域の有権者数の推移を見ると10年前から63人増加して、現在1,648人です。投票所の設置については、選挙管理委員会と今後の有権者数の推移を見ながら検討したい。



議会を傍聴しましょう

本会議は一般公開されています。個人でも団体でも自由に傍聴できます。市議会議員の活動や施政方針などを実際に見聞するために、ぜひお出かけください。

議場は市役所の5階にあります。傍聴するときは、会議の当日に受付で住所・氏名を記入してください。

なお、傍聴席の定員は57人（記者席含む）です。

傍聴のとき守っていただくこと

- ・議場における言論に対し、声を出したり、拍手などはしないこと。
- ・病気など特別な場合以外、帽子やコートの類などは着用しないこと。
- ・傍聴席で飲食や喫煙をしないこと。
- ・議長の許可を得た場合以外、写真撮影や録音などはしないこと。
- ・傍聴席ではすべて係員の指示に従うこと。

テレビモニターによる議会中継

3月から議会の中継を、次の施設のテレビモニターで放映しています。

議会開催中に施設にお立ち寄りの際には、ぜひご覧ください。

【設置施設】

市役所・支所・総合会館・さくらんど会館・村松公民館・図書館・勤労青少年ホーム・五泉市保健センター・福祉会館・さくらんど温泉

意見書の提出

6月定例会では、意見書3件を可決しました。

可決した意見書は、内閣総理大臣並びに関係大臣等にそれぞれ送付しました。

30人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度の国負担率2分の1復元をはじめとする教育予算の実現を求める意見書

主な内容

1. 30人以下学級の実現をはじめ、読書の推進、健康教育や食教育の充実、地域に根ざした教育の推進などの教育課題に対応するために「義務標準法」を改正すること。
2. 地域の事情や子どもの実態を考慮した弾力的な教職員加配を行うこと。
3. 義務教育費国庫負担制度を堅持し、国の負担割合を3分の1から2分の1にすること。

【提出先】内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣

国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める意見書

主な内容

1. 森林吸収源対策を着実に推進するため、環境税等税制上の措置を含め安定的な財源を確保するとともに、林業・木材産業の振興施策の推進と森林所有者の負担軽減措置による森林経営意欲の創出。
2. 緑の雇用対策等森林・林業の担い手対策の拡充、施業の集約化、路網の整備等による効率的・安定的な木材の供給体制の確保、木材のバイオマス利用の促進等により間伐材を含む地域材の需要拡大対策の推進、および地域林業・木材産業の振興。
3. 計画的に水源林造成事業を含めた公的森林整備を推進するための組織体制の確保、および施業放棄地等民間による森林整備が困難な地域における国の関与の下での森林整備制度の創設。
4. 国有林野事業については、国民共有の財産である国有林を適正に管理するとともに、公益的機能の一層の発揮を図るため、国による管理運営体制の堅持とその管理運営を通じて地域における森林・林業担い手の育成と地域活性化への寄与。

【提出先】内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、農林水産大臣、環境大臣、林野庁長官

障害者自立支援法の抜本的な改正を求める意見書

主な内容

1. 利用者負担は応益(定率)負担ではなく、負担できる能力に応じた応能負担を原則とすること。また、利用料の算定に当たっては、本人収入のみに着目すること。
2. 指定障害福祉サービス事業者等に対する報酬を月割制へ戻し、概ね障害者自立支援法施行以前の収入を保障すること。
3. 障害者が地域で人間らしく生きていけるように、社会基盤整備について立法措置を含めた拡充策を進めること。また、自治体が支給決定したサービスや地域支援事業について、財源保障を行うこと。

【提出先】内閣総理大臣、厚生労働大臣

林議長「全国市議会議長会表彰」



去る5月26日、東京都で開催された第84回全国市議会議長会定期総会において、市政振興に尽くされた功績により、林議長が議長在職4年の表彰並びに全国市議会議長会国会对策委員会委員の功績に対する感謝状を受けられ、6月12日の定例会冒頭に表彰状の伝達が行われました。

市議会の仕組み

●会 派

市政について、同じ考えや意見をもっている議員が集まって、それぞれのグループをつくっています。これを「会派」といいます。五泉市の市議会では次の会派があります。

(◎：代表者)

会 派 名	所 属 議 員 氏 名
革 新 ク ラ ブ 市 民 連 合	◎後藤 寛 長谷川真介 目黒 末治 町田 俊夫 山田 博 長谷川秀行 熊倉 政一
公 明 ク ラ ブ	◎広野 甲
五 泉 未 来 研 究 会	◎鈴木 光規 佐藤 渉
さ く ら ク ラ ブ	◎相田 豊 羽下 貢 川瀬 圭介
市 民 ク ラ ブ	◎土田 春夫 林 茂 池田 邦一 石黒 俊雄 芳賀 和久 平井 敏弘
清 流 ・ 月 曜 ク ラ ブ	◎剣持 雄吾 阿部 周夫 鈴木 良民 牛腸 利栄
日本共産党五泉市議会議員団	◎猪熊 豊 古田 弘平
合 計	25人

編集後記

梅雨あけ、ハンゲシヨウの花が開き、片葉がまるで化粧したかのよう
に白く色づきます。

六月下旬、葉が白さを増してくるのを待って梅を漬ける。この時期に漬けられた梅干しは決して黴びることが無いと言う。先人達の偉大な知恵であり、季節を感じながら生活を営んできたおらかさを感じます。

創刊号発行後、読者の方々から貴重なご意見をお寄せ頂きました。改善できる所は積極的に取り入れて参ります。文字を大きくし一般質問の要旨も簡略化に努めました。

皆様から頂いたご意見を生かしながらより良い議会報を心がけて参ります。

議会に関するご意見・ご要望をお寄せください。

議会事務局 ☎433911

内線370

